

あなたからはじまる、
40%ごみ減量



町田市役所からのお知らせ

ごみ資源化施設建設 NEWS

広報紙「ごみ資源化施設建設NEWS」では、新たな「ごみの資源化施設」に関する情報をみなさまにお届けします。

本事業に関する情報は、[町田市](#) [熱回収](#) [現場ホームページ](#)

検索

Vol.27

発行日：2020年3月15日

発行：町田市環境資源部

問合せ：循環型施設整備課

住所：町田市森野2-2-22

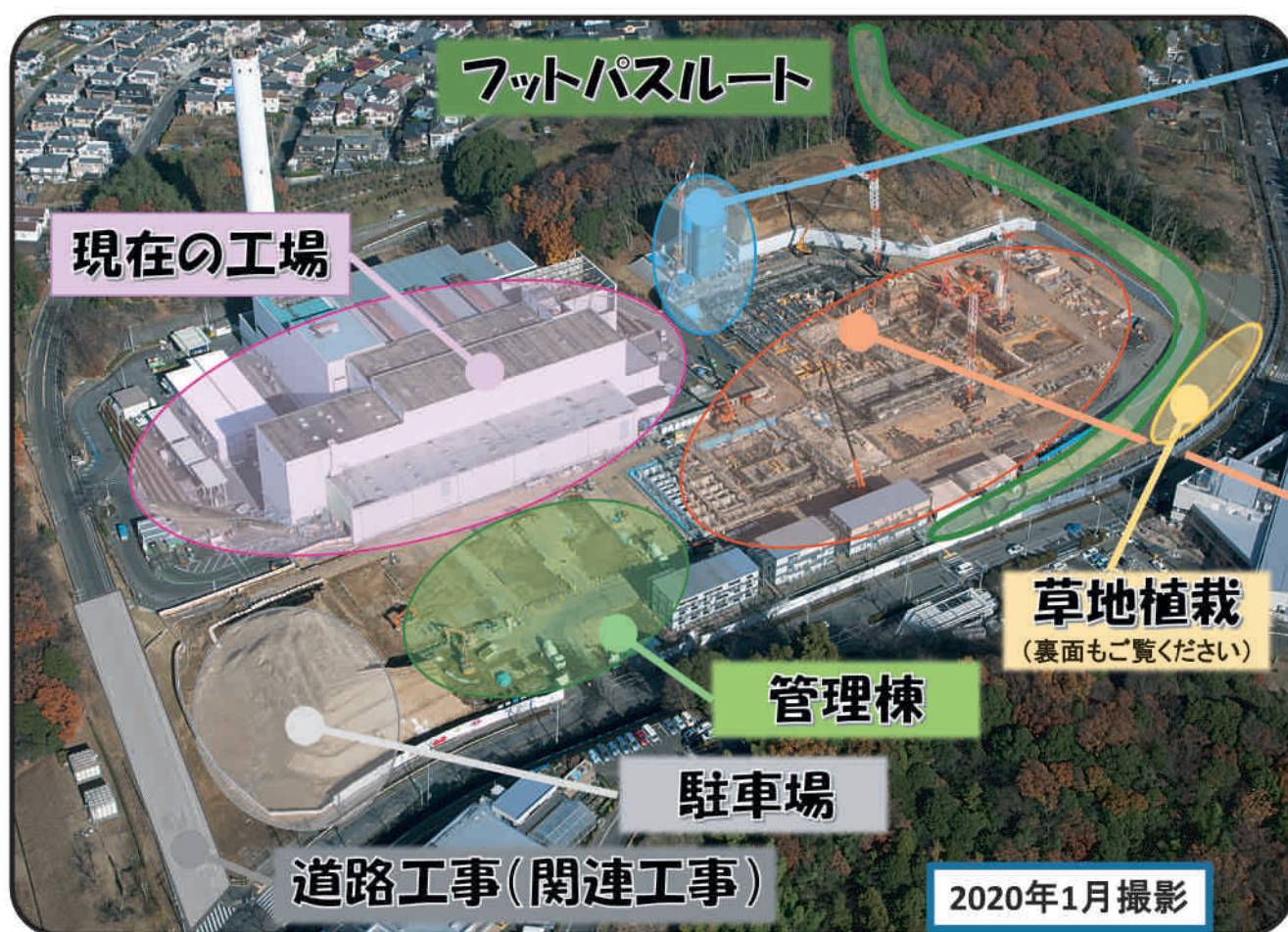
電話：042-724-4384

< 熱回収施設等施設整備工事情報 >



町田市では、老朽化したごみ処理施設に代わり、町田リサイクル文化センター敷地内に熱回収施設等の整備を進めています。2018年8月から、主にごみ処理に直接かかわる工場棟（ごみ焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設等）の建設工事を進めています。

2020年1月からは事務所や市民のみなさまの環境学習の場として使用する管理棟の工事も始まりました。また、関連する工事として敷地西側の道路工事を行う予定です。



新しい煙突



煙突は高さ40mまで立ち上がりました。

(2020年2月28日時点)

工場棟



ごみ焼却・バイオガス化施設の状況です。

大型クレーン車が搬入されました

工場棟の地下部分の工事が完了し、ごみを処理するための機器類を設置する工事を開始します。大きな設備機器の据え付けなどに使用する大型のクレーン車が現場に搬入されました。

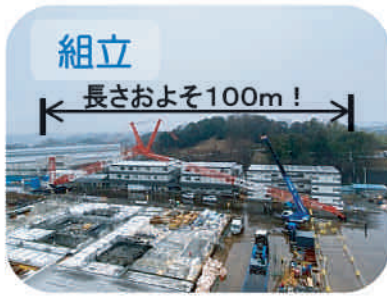
このクレーン車は、『350tクローラークレーン』で、とても大きいため、バラバラに搬入されたパーツを現場で組み立てました。一度に普通乗用車233台を吊り上げることができます！（普通乗用車1台1.5トンで計算）

搬入



組立

← 長さおよそ100m! →



完成

350tクレーン⇄
70tクレーン
↓

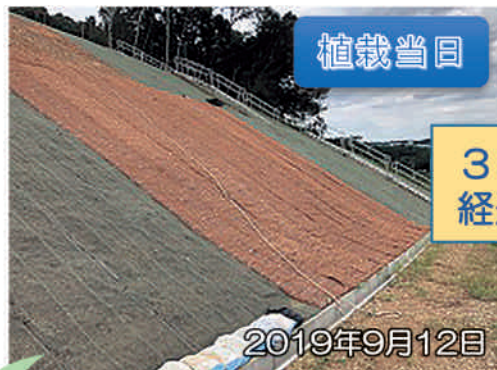


周辺環境に配慮した施設を目指して

熱回収施設等の整備においては、東京都環境影響評価条例に基づき、周辺環境への影響に配慮した取り組みを行っています。ここではその取り組みの一部をご紹介します。

周辺環境配慮の取り組み例(草地植栽)

熱回収施設等の植栽整備の一部では、花壇のように整った植生にするのではなく、あえて草地として整備(植栽)することで、草地性の鳥類や昆虫類等の隠れ場や繁殖場のような生息環境になるように配慮します。植栽する植物は敷地周辺の植生に合わせた植物を選定しています。



植栽当日

33日
経過後



129日
経過後



メヒシバ・カゼグサ・チカラシバの種を写真中央に見える茶色のマットに付着させています。

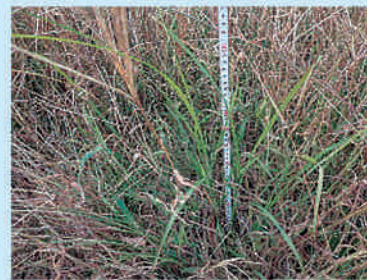
【植栽試験の様子】

選定した植物が現地で根付いて生育するかどうかを確認するために、整備予定地(表面の『草地植栽』部分)の一部に先行して植栽を行い、生育状況などを観察しています。

【草地整備の選定植物】

草地には以下の種類を植栽する予定です。

- ・メヒシバ : 一年草 30~70cm程度
- ・カゼグサ : 多年草 40~80cm程度
- ・チカラシバ : 多年草 30~50cm程度
- ・ススキ : 多年草 1~2m程度
- ・チガヤ : 多年草 30~80cm程度



ススキ



チカラシバ

※実際の植栽試験中の植物の写真です。

※このように、ある程度高さのある植物を植栽することにより、動物が隠れ場として利用することが期待できます。

地区連絡会を開催しました

町田リサイクル文化センター周辺地区連絡会

2020年2月28日(金)に開催した第23回「町田リサイクル文化センター周辺地区連絡会」では、これから設置する「運営協議会」の方向性について話し合いました。



第23回 町田リサイクル文化センター周辺地区連絡会の様子

「運営協議会」とは新しい施設が周辺住民のみなさまと締結した協定通りに運転されているかなどについて確認するために、周辺地域の代表の方々と構成される組織です。

【お知らせ】

地区連絡会は市民の方の傍聴が可能です。詳細をお知りになりたい方は問い合わせ先(本紙のタイトル部分に記載してあります)までご連絡ください。

相原・上小山田地区資源ごみ処理施設連絡会

2020年2月15日(土)に相原地区、2020年2月19日(水)に上小山田地区で地区連絡会を開催しました。相原地区は今回で13回目。上小山田地区は今回で6回目になります。どちらの地区連絡会も、資源ごみ処理施設の整備に向けた進捗状況と今後のスケジュールについての報告を行いました。